

第1学年1組 図画工作科学学習指導案

平成26年9月18日（木）第3校時

児童数 12名

指導者 除村 美和

場所 教室

1 題材名 ひかりのくにのなかまたち

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、6月に行ったアンケートで図画工作の学習が好きと答えた児童は11名、どちらかといえば好きと答えた児童が1名であった。また、ものをつくる学習が好きと答えた児童は10名、どちらかといえば嫌いと答えた児童が2名であった。児童は、これまでに「うきうきボックス」の学習で、身の回りの材料を使って箱の飾り方を工夫しながら、楽しく箱をかざることができた。また「チョッキンパでかざろう」の学習では、折り紙を折ったり、はさみで切ったり、のりで貼ったりして飾りをつくることができた。しかし、自分の思いを表現したいけれども方法がわからなかったり、技術が伴わず自分の表現したいものをつくれず戸惑ってしまう児童もいる。

(2) 題材について

形や色、方法や材料について知り、造形的なものの見方や考え方を養う活動である。ここでは、材料を通して見える透過光や反射光の様子を楽しみ、その美しさを生かしてつくる。この経験がペットボトルや和紙など光を通す材料への関心や、その特徴を生かした造形への基礎となっていく。

(3) 本題材を指導するに当たって

指導にあたっては、色セロハンや銀紙を入れる量を加減しながら、透過光の美しさやおもしろさを見つけられるように導入の工夫をし、意欲的に取り組めるようにしたい。また、発想が苦手な児童もイメージを広げられるよう、いろいろな形の袋をつなげたり、ペットボトルにつなげたりして関心を高めたい。鑑賞に関しては、創意工夫したところを互いに紹介し合う場面を適宜設定し、作品づくりへの意欲を刺激したり、表現を広げさせたりして、つくる楽しさ、見る楽しさを味わわせたい。また、できたものを教室の窓際につるすなどして、光の美しさを楽しめるようにしたい。

3 学習指導要領上の位置づけ

A 表現 (2) 感じたことや想像したことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。

ア 感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すこと。

イ 好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。

ウ 身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。

B鑑賞（1）身の回りの作品などを鑑賞することを通して、次の事項を指導する。

ア 自分たちの作品や身近な材料などを楽しく見ること。

イ 感じたことを話したり、友人の話の聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。

〔共通事項〕

ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。

イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

4 題材の目標

- ・透明なポリ袋の中に色セロハンや銀紙を詰め、光を通して見える美しさやおもしろさに関心を持ち、ポリ袋を使ってつくることをたのしむ。
- ・材料を詰めたポリ袋を光を通して見える形や色から想像を広げ、表したいものを思いつく。
- ・色セロハンなどを袋に入れたときの偶然のおもしろさや、袋をつなげるなどしてできるたのしい感じを生かしてつくる。
- ・作品を光にあてて見せ合いながら、光の美しさに気付き、互いのよさを認め合う。
- ・色セロハンの色や、袋に詰めた形をとらえ、それをもとにしてつくりたいもののイメージをもつ。〔共通事項〕

5 評価規準

造形への関心・意欲・態度〔関〕	発想や構想の能力〔発〕	創造的な技能〔想〕	鑑賞の能力〔鑑〕
透明なポリ袋の中に色セロハンや銀紙を詰め、光を通して見える美しさやおもしろさに関心を持ち、ポリ袋を使ってつくることをたのしもうとしている。	材料を詰めたポリ袋を光を通して見える形や色から想像を広げ、表したいものを思いついている。	色セロハンなどを袋に入れたときの偶然のおもしろさや、袋をつなげるなどしてできるたのしい感じを生かしてつくっている。	作品を光にあてて見せ合いながら、光の美しさに気付き、互いのよさを認め合っている。

6 指導と評価の計画

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	<p style="text-align: center;">提案1：ひかりのくについてどんなくにだろう。</p> <p>○透明な材料と光の美しさを生かしてつくる活動への理解を深める。</p>	<p>○透明な袋に色セロハンを入れたものを用意し、光にかざして見せる。</p> <p>○色セロハンそのまま入れたもの、よくもんでくしゃくしゃにしたもの、すずらんテープ、ぷちぷちシートなど、それぞれの違いに気づくようにする。</p>	<p>〔関〕透明なポリ袋の中に色セロハンや銀紙を詰め、光を通して見える美しさやおもしろさに関心を持ち、ポリ袋を使ってつくることをたのしもうとしている。</p> <p style="text-align: right;">（発言・表現）</p>

		<p>○はさみの使い方、接着の仕方を指導する。</p> <p>○袋にほどよく詰めたものと、たくさん詰めすぎて光が通らなくなってしまうものを見せ、中身の量に気をつけるようにする。</p>	
②	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 提案2 : ひかりといろのまほうをかけよう。 </div>		
3	<p>○光や色の美しさを生かすつくり方を工夫して、思いついたものをつくる。</p> <p>・大きさ、色、種類の違う材料を袋に入れて、見え方を確かめながら材料を選ぶ。</p>	<p>○一つの袋に入れて入口をしぼる、大きさの違う袋をセロハンテープで接合する、袋の先をはさみで切って形を変えるなど、具体的に例を示しながら、いろいろと試してよいことを知らせる。</p> <p>○数種類の大きさのポリ袋(細長いものなど、縦横比の違うもの)と、色セロハン各色、半透明の荷造りひも、ぷちぷちシートなどを自由に選べるように多めに用意する。</p>	<p>〔発〕 材料を詰めたポリ袋を光に通して見える形や色から想像を広げ、表したいものを思いついている。 (発言・表現・行動観察)</p> <p>〔創〕 色セロハンなどを袋に入れたときの偶然のおもしろさや、袋をつなげるなどしてできるたのしい感じを生かしてつくっている。 (発言・表現・行動観察)</p>
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 提案3 : ひかりのくにのなかまにあおう。 </div>		
	<p>○自分や友だちの作品のよさを見つける。</p>	<p>○できた作品をセロハンテープで窓にはりつけて、光の効果がすぐに見られるようにする。</p> <p>○名前や題名は、セロハンテープに書かせて貼らせる。</p>	<p>〔鑑〕 作品を光にあてて見せ合いながら、光の美しさに気付き、互いのよさを認め合っている。 (発言・表現・行動観察)</p>

7 「4つの実践と3減運動」との関わり

○友だちをたくさんつくる。

自分が感じたことや工夫したことを相手に伝えたり、相手を感じたことを聞いたりすることで、互いの思いを大切にすることができる。

○「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。

グループで活動することと、材料コーナー、道具コーナーにある限られたものを友だちと順番を守って使ったり、譲り合ったり、アドバイスをしたりする中で友

だちの行為に対して感謝することができる。

8 本時の学習（2 / 4）

- (1) 目標
- ・材料を詰めたセロハン袋を光に通して見える形や色から想像を広げ、表したいものを思いつく。〔発〕
 - ・色セロハンなどを袋に入れたときの偶然のおもしろさや、袋をつなげるなどしてできるたのしい感じを生かしてつくる。〔創〕

(2) 準備

- 教師 いろいろな大きさのポリ袋、色セロハン、ペットボトル
アルミホイル、セロハンテープ、両面テープ、カラーペン
モール、ビニタイ、すずらんテープ、化学接着剤（プッシュボンド）
- 児童 はさみ、ペットボトル

(3) 展開


	学習活動	学習内容	○指導上の留意点(配慮・手立て) ◎評価〔共〕共通事項に係る内容
導入 5分	1 前時の活動を振り返り、本時の学習のおよその見通しをもつ。		
	ひかりといろのまほうをかけよう。		
展開 30分	2 ひかりのくのにのイメージを膨らませる。 ・色や形を工夫して自分のイメージしたものを表す。 ↑ 行き戻り ↓ ・できた表現を基にさらに自分なりのアイデアや工夫の楽しさに気付きながら活動する。	○接着の方法 ・セロハンテープ ・両面テープ ・化学接着剤 ○安全な道具の使い方 ・はさみ ○色や飾り ・セロハン ・モール ・すずらんテープ ・カラーペン ・ビニタイ ・アルミホイル	○指導上の留意点(配慮・手立て) ◎評価〔共〕共通事項に係る内容 ○前時の活動を想起させる。 ○接着に使用するものを確認する。 ○はさみの安全な使い方について確認する。 ○作品が完成するまでの計画を掲示したり、本時の活動を確認したり、見通しをもって活動できるようにする。 ○自信をもって活動できるように、活動の様子を観察したり、対話したりしながら、児童の活動への思いや願いを共感的にとらえるようにする。 ○活動が進まない児童には、対話しながら、思いにあう支援をする。 ○それをもとに自分のイメージをもつことができるようにする。〔共〕 ○活動の途中であっても必要に応じて自分に鑑賞させたり、参考作品を見に行かせたりし、表現が広がるようにする。 ◎材料を詰めたセロハン袋を光に通して見える形や色から想像を

			<p>広げ、表したいものを思いついている。〔発〕</p> <p>◎色セロハンなどを袋に入れたときの偶然のおもしろさや、袋をつなげるなどしてできるたのしい感じを生かしてつくっている。〔創〕</p>
ま と め 10 分	3 本時の活動を振り返り、自分の学習状況を確認する。	<p>○後片付け</p> <p>○作品鑑賞</p> <p>○振り返り</p>	<p>○友だちと協力をしてすばやく後片付けをさせるようにする。</p> <p>○作品を鑑賞し、工夫したところを認め合い、次時の活動の参考にする。</p> <p>○本時の活動を賞賛し、次時の活動への期待を高めてまとめとする。</p>

9 板書計画

ひかりのくにのなかまたち

本時の学習内容



いろ

あか あお

みどり きいろ

ざいりょう

せろはん

もーる びにたい

すずらんてーぶ

あるみほいる

はさみの使い方
掲示資料

学
習
計
画
表

ひかり

どうぐ

はさみ せろはんてーぶ

りょうめんてーぶ からーぺん

10 場の設定

